

AAGT の目的、哲学、原理、協会の誓い

(AAGT'S PURPOSE, PHILOSOPHY, PRINCIPLES AND COVENANT OF COMMUNITY)

AAGT (Association for the Advancement of Gestalt Therapy) の目的は、ゲシュタルト療法とその様々な適用についての哲学、原理、臨床、研究の保護と進展に尽力するフォーラムに繋がり、専門性の向上を目指して参加するプロフェッショナル及び個人を支援するものである。AAGT は、その組織内の発展、原理の適用と臨床が、以下の教義に一致するものを奨励する。

*組織は、強制されたものではなく、創られてゆくものであり、互いの関係性 (交流・接触) によって成長してゆくものである；

*その骨組みは、私たちが共に必要とするもの、興味や関心事に応じてゆくなかで、構成されてゆくものである；

*理論と臨床が統一されていることを信じ、そこから自生した組織は、まさに経験的であり、ゲシュタルトの形成と崩壊の現行する有機的プロセスそのものである。そのプロセスの中で古い形態は壊され、明るく快活でエネルギッシュ、優雅で流動的な交流を通じて新しい形態が出現する；

*そのような組織は、絶えず現れ出るものに、豊かさと存在の明確さ、それを支援する土壌を与えるものとなる。これこそがゲシュタルト療法である！

AAGT の全てのミーティングの形態や会合は、ゲシュタルト療法の原理に則っている。その原理とは、有機体的自己規制、しっかりとした 形態/基礎 構成、質的交流と個人や専門家としての尊厳を育む豊饒さを与えるに十分な柔軟性 (適応性・融通性) を支援する組織として必須となる機能的抵抗への尊重、意味ある個人間関係の相互作用 (相互の影響)、包括的判断、個々に見合ったネットワーキング、本協会の会員間の専門性の発展を育成するものである。

AAGT の結成と発展を導いてきたゲシュタルトの原理に従って、本協会の決断過程となる形態と会合は、人と決断過程に関わるものであり、そこからの決断の結果と産物にも関わっている。**本協会関連のミーティング**は、協会に関係する課題の発表や討議の為になされるのである。

なぜならば、ゲシュタルト・セラピストは、様々な声に耳を傾け、自身を主張し相違を表現することによる相容れない関係性を大切に、「エネルギー」を「敵」としてではなく、反抗を受け入れ、社会の両極性を明確にし、その両極性とともに関わることを奨励し、尊重し支えるものであり、ゲシュタルトの方法論の心と魂の対話的経緯に敬意を払うのである。協

会の誓いは、補足的なガイダンスとして創られ、私たちゲシュタルト社会における創造的かつ持続可能な対話を遂行するものである。協会の誓いは AAGT 会員に、以下の対話型過程の励行を促すものであり、劇的な相違に遭遇した際に特に奨めるものである。

- A. **AAGT** 会員として、私たちはお互いに助け合い、励まし、お互いの対話を大切にし、またその対話において、しばし口をつぐむという時間があることにも寛大であることを誓う。
- B. 私たちは、自身が投影をもっており、そのことを認め、それに気づいていることを知らせ、思い込みを外して、お互い自身がこの様であることを奨励することを誓う。
- C. 私たちは、忍耐と理解をもって協会を守り続けることを誓う。
- D. 私たちは、協会会員の必要に応じて支援することを誓う。
- E. 私たちは、たとえ難しい対話となった時も、自身が疲労ストレスに苛まれるなどの如何なる状況下においても私的空間（領域）が必要である事実を認め、それでもお互いを見捨てることなく、共に居続けることを誓う。
- F. 私たちは、お互いの振る舞い、言葉、意向によって、影響を得ており、関心をもち続けることを誓う。
- G. 私たちは、権力（いかなるものであっても）への願望も興味も私たちの視野から排除し、権力外の土俵において正直に直接的であることを誓う。
- H. 私たちは、言語またはコミュニケーションにおいて他者を傷つけることのないよう注意深く接することを誓う。
- I. 更に、**AAGT** 会員として、私たちは、社会における私たちの経験において何が起ころうとも、人間の価値や個々の尊厳を含む本協会の目的と倫理的真価を支えることを誓う。このようにして、私たちは、本協会の個人間において、さらに広く社会において、社会的平等と正義に尽くすことを宣言する。

(2020 年 6 月 13 日 水野賀弥乃訳)